

三ヶ島 葎子

色づきて一つみいでしさくらんぼみれば幾つも葉かげに赤し

見かへれば今し入日のうつくしさ思はぬ方が西にてありし

咲きのかぎり咲きたるさくらおのづからとどまりかねてゆらげることし

この露地にさきまで遊びたる子のこゑなくただに風吹きわたる

〈出典 『日本の詩歌 29 短歌集』 (中央公論社、一九七〇年)〉

【著者】 三ヶ島 葎子 (みかじま よしこ)

一八八六 (明治一九) 年—一九二七 (昭和二) 年

歌人。埼玉県生まれ。

【著書】 歌集 『吾木香』 など